

- 1 会議名 議会運営委員会  
2 日 時 令和8年1月26日(月)  
開会 午前10時  
閉会 午前10時46分  
3 場 所 正・副議長応接室  
4 出席委員 (委員長)梅村均、(副委員長)伊藤隆信  
(委員)鬼頭博和、木村冬樹  
5 出席議員 須藤智子議長、谷平敬子副議長、水野忠三議員、大野慎治議員  
6 執行機関出席者 行政課長 兼松英知  
7 事務局 議会事務局長 丹羽至、同主幹 田島勝己  
8 梅村委員長あいさつ  
9 議長あいさつ  
10 協議事項

(1) 令和8年1月(第1回)臨時会について

①議案の上程について

行政課長：資料に基づき説明

議案の内訳として、専決処分の承認1件、補正予算1件の計2件の付議事件を確認した。

【質疑】

なし

②会期の確認について

議会事務局主幹：資料に基づき説明

会議録署名議員は3番鬼頭博和議員、4番谷平敬子議員となることを説明した。

諸般の報告については、1月28日開催の尾北五市議会議長協議会と2月6日開催の愛知県市議会議長会定期総会をあわせて3月定例会での報告としたい。

- ・会期(案)のとおり議会に諮るものと決した。

③議案精読時間について

- ・いずれの議案も5分間から10分間と決した。

④その他

なし

(2)アジア大会を考慮した9月定例会会期(案)について

梅村委員長：事務局に5種類の具体的な会期(案)を作成してもらった。各会派に資料を持ち帰っていただき、2月の議会運営委員会で決定したい。

議会事務局長：資料に基づき説明

**【質疑】**

梅村委員長：アジア大会を考慮するとしたら、(案2)で短期間に凝縮して行うのが最もシンプルだと思う。日数が足りず最終日までに反訳ができないが、この時期になれば反訳のシステムが導入されているかもしれない。緊急対応の反訳予算を使用してもいいと思う。

木村委員：(案1)の場合、9月28日が本会議になる。この日はアジア大会で市長や議長が出席する行事はあるのか。あるのならばこの案はまず無理であるし、まだわからないようであれば避けた方がいいので、(案1)は避けた方がいいと思う。

議会事務局長：他市議会の状況であるが、試合会場になっている市でなくても会期(案)を変更している。会場がなくても、練習会場として使用されたりすることもあるようである。また、開会前に競技が始まる種目もあるようだ。

木村委員：アジア大会の予定が未定で(案1)にはできないと思うので、(案2)から(案5)までのどれかではないか。

議会事務局長：部長会で確認したが、執行機関側は会期を早めても遅くしても特に影響ないという意見であった。早く終わっていただいたほうがありがたいということではあった。

木村委員：18日で閉会する(案2)か(案3)のどちらかとするか。証書類審査が厳しくなるが、委員会の反訳はいろいろと方法はあるので可能である。いずれにしても財務常任委員会は3日間となる。証書類審査の提出締切が早くなるのは議員が大変であるため(案2)がいいのではないかと思う。

梅村委員長：私もそう思う。(案3)は難しいかもしれない。

木村委員：決算資料が示されるのが告示日の19日で、(案3)の場合は25日までの6日間で見ると申請しないといけない。自分の気持ちとしては(案2)がいいと思う。

梅村委員長：最終日が遅いと、議会だよりの準備はどうか。アジア大会期間中に準備すればよかったか。

木村委員：(案4)も証書類審査の申請は28日までできる。(案3)は厳しい

のではないかと。証書類審査の申請期限が早く、資料を読み込むのが難しい。一般質問のヒアリングも入ってくるので、やはり（案3）は厳しい。（案2）か、会期を長くするかどちらかだと思う。

大野議員：議会だよりの編集は追加議案があるかないかで対応が変わる。追加議案に重要なものがあると編集上のネックとなる。

梅村委員長：早く終了し、何かある場合は臨時会を開催したほうがいいか。

木村委員：総合的に勘案して（案2）がいいのでは。

梅村委員長：（案2）がいいのではないかとという方向性でよく検討してきていただき、次回の議会運営員会で決定する。

### （3）その他

（令和8年度当初予算について）

議会事務局主幹：市長の査定も終わり最後の調整段階に入っている。1月14日に企画財政課から照会があり、既に回答したが、その内容について報告する。議長交際費について、他市町の議長交際費の支出基準を確認して報告することの内容であった。近隣の支出基準を報告したところ、企画財政課が聞きたかったのは行政視察の手土産がどうなっているかの実態であった。尾張西部八市や尾北五市に問い合わせしたところ、いずれの市も行政視察の手土産は渡していた。江南市は慣例により議員私費で購入していた。小牧市は、市長、議長ともに既に交際費が廃止されているが、消耗品費で対応しているとのことであった。それ以外の一宮市、春日井市、津島市、犬山市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市については全て慣例により議長交際費で対応していた。その内容で企画財政課に報告した。議長交際費について、今回は見直しについては言われていないため、おそらく従来の予算どおりとなると見込んでいる。

議会事務局長：議長交際費について各市の状況も調査した中で、財政担当には議会の中で見直しについて検討していくと回答している。基準は前回見直したのが令和3年であり、5年となるため、一度見直したほうがいいと思っている。他市議会に比べて、お見舞の範囲や非常勤特別職の範囲が広く含まれる基準となっていた。よろしく願います。

木村委員：近隣と比較して岩倉市の範囲が広いものがあれば検討したほうがいいと思うので、また資料を出していただきたい。

（議案第1号の専決処分に関する議案について）

梅村委員長：衆議院議員選挙に係る補正予算について、いつ頃に届くか。

議会事務局主幹：議案書は既に届いておりチームズに入れてある。

梅村委員長：これ以上の説明資料はないか。

議会事務局長：過去にも全員協議会で資料として出しているものはあるが、議案書の内容とほぼ同じである。

#### 1 1 その他

なし